

同一規格の製品の審議について

平成 24 年 10 月 10 日 (水)
(公社)日本環境技術協会

1. 同一製品の販売確認

(1) 日本レイシステムズ株式会社の ppbRAE3000 (PGM-7340) 及び ToxiRAE ProPID (PGM-1800) は、篠原電機株式会社 (本社：大阪市北区松ヶ枝町 6 番 3 号) から、全く同じ技術・製品の名称・型番で販売されている。

(2) フィガロ技研株式会社のパーソナル TVOC モニター (FTVR-01) は、リオンテック株式会社 (本社：東京都立川市錦町 1 丁目 23 番地 1 号 吾妻ビル) から、全く同じ技術・製品を同じ名称、型番 (FTVR-01B) で販売されている。

2. 同一規格の製品であるかの審議

実証試験では、異なるセンサー (例えば品番が違う等) や、条件を変更して (例えばシステム的な変更等) 使用する場合など、同じ技術・製品の名称・型番であっても、原則として、異なる技術であると判断される。

その場合は、異なる技術の製品、全てについて実証試験を実施するか、同一規格の製品であるとの技術的な見解を聞いた上で、技術実証検討会で判断する。

OEM 等で形、中身が同じで、販売者、製品の名称・型番が異なる場合についても、申請書類により、技術実証検討会で判断する。

* 同一規格の製品は、環境技術実証事業のロゴマークの使用が可能となる。

(1) 日本レイシステムズ株式会社 ppbRAE3000 PGM-7340 について

◎ レンジが 4 レンジある (自動切換え)。

| | 測定範囲 | 分解能 | 反応時間 T90 |
|---|--------------|---------|----------|
| ① | 1-9999ppb | 1ppb | 3 秒未満 |
| ② | 10-99ppm | 0.01ppm | 3 秒未満 |
| ③ | 100-999.9ppm | 0.1ppm | 3 秒未満 |
| ④ | 1000-9999ppm | 1ppm | 3 秒未満 |

本年度の実証試験の対象は「室内環境 VOC」、「作業環境 VOC」の簡易測定技術であるので、①、②のレンジの測定範囲で、実証試験を実施する予定であるが、③、④のレンジについてどのように取り扱うか審議が必要である。

◎ 検出器が 10.6 eV (標準)、9.8 eV、11.7 eV ランプ搭載の 3 種類がある。

搭載ランプが異なれば、同一規格の製品とは認めづらい。申請者と事前協議の上、10.6 eV (標準) と 11.7 eV (オプション：塩素系化合物に感度を有する) の 2 種について実証試験を実施す

る予定である。

9.8 eV ランプの検出器についてどのように取り扱うか審議が必要である。

| 実証試験 | ランプ | 測定範囲 | 分解能 |
|------|---------|--------------------|--------|
| 今回実施 | 10.6 eV | 1 ppb～10,000 ppm | 1 ppb |
| -- | 9.8 eV | 0.01 ppm～5,000 ppm | 10 ppb |
| 今回実施 | 11.7 eV | 0.01 ppm～2,000 ppm | 10 ppb |

(2) 日本レイシステムズ株式会社の ToxiRAE ProPID PGM-1800 について

◎ レンジが 2 レンジある (自動切換え)。

| | 測定範囲 | 分解能 | 反応時間 T90 |
|---|-------------|--------|----------|
| ① | 0.1～99.9ppm | 0.1ppm | 15 秒 |
| ② | 100～200ppm | 1ppm | 15 秒 |

本年度の実証試験の対象は「室内環境 VOC」、「作業環境 VOC」の簡易測定技術であるが、申請対象技術は測定範囲が「排ガス VOC」に近いと考えられる。

今年度は、①のレンジを対象として、0～100ppm の範囲で実証試験を実施する予定であるが、②のレンジについてどのように取り扱うか審議が必要である。